
3 生涯学習・生涯スポーツの推進

〔現状と課題〕

- 高齢社会においては、価値観が多様化するとともに、社会の変化に対応して新たな知識や技術を習得する機会が必要となってきます。そのような中で、いつでも多彩な学習機会を確保し、高齢者が学ぶことを通して自己実現や心の豊かさの充足を図り、いきいきと暮らせるよう支援することが大切です。
- 健康づくりなどを支援するため、スポーツ等に親しむことができるよう、多様な機会と場の拡充が必要です。
- 各世代が高齢社会についての理解を深めることができるよう、世代間の交流を促進することが必要です。

〔目指すべき方向性〕

- 高齢者が健康で生きがいのある生活を続けられるよう、多様なニーズに対応した学習や文化、スポーツ活動等に、様々な世代とともに参加する機会を提供します。
- 学校をはじめとした地域の資源などをいかし、多様な活動や交流のための場づくりを進めます。

< 1 > 生涯学習・生涯スポーツへの支援

高齢者の学習に対する意欲の向上をはじめとして、生きがいつくりや健康づくり、さらには世代間の交流の促進などを図るため、生涯学習・生涯スポーツ活動に対する支援を行う必要があります。

施策の方向

- ◇ 高齢者が健康で生きがいをもって暮らせるよう、多様なニーズに対応した学習や文化、スポーツ活動等に、様々な世代の方とともに参加する機会を提供します。

① 生涯学習・文化活動への支援

高齢者が自らの経験、知識、意欲を活かして行う生涯学習活動や文化活動を支援し、生涯にわたり地域で健康にいきいきと活躍できる社会の実現を図ります。

【主要事業】

- ・ 県立社会教育施設における生涯学習事業の実施（県）
県立社会教育施設において、各館の専門性や特色を生かした展示・講座などを開催します。
- ・ 県立学校公開講座の開催（県）
県立学校の施設や人材を活用して、多様な学習・文化系講座やスポーツ教室を開講することにより、地域に親しまれる学校づくりを促進するとともに、異なる世代が共に学び合える機会を提供します。
- ・ 県立保健福祉大学公開講座の開催（地方独立行政法人）
県立保健福祉大学の研究成果を地域社会に還元し、広く県民の教養を高め、文化の向上に資するため、また、開かれた大学として地域社会に貢献するため、公開講座を開催しています。
- ・ 「ゆめかながわシニアフェスタ」の開催（県）
高齢者の文化的活力を地域に広げ、生きがいを高めることを目的に、高齢者の日ごろの文化活動の成果を発表する場として、「かながわシニア美術展」を開催します。
「ゆめかながわシニアフェスタ」では、「かながわシニアスポーツフェスタ」と「かながわシニア美術展」を開催しています。
- ・ 共生共創事業の実施（県）
文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー(マグカル)の取組の一環として、共生社会の実現等を意識した魅力的なコンテンツの創出と発信を行います。具体的には、障がい者や高齢者等が出演する、演劇や音楽等の良質な舞台公演や、ワークショップ等を開催します。

共生共創事業の公演等の参加者数の目標値 (単位：人)

2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)
6,947	5,400	5,700	6,000	6,000

注 2019(令和元)年度は実績、2020(令和2)年度は実績見込み。

② 生涯スポーツへの支援

高齢者の健康・生きがいの支援と普及を図るため、健康・体力づくり運動を推進し、これらがくらしの一部として習慣化することを推進します。

また、スポーツ等に親しむことができる機会や場の提供を推進します。

【主要事業】

・健康・体力づくり運動の推進（県）

3033（サンマルサンサン）運動（1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、くらしの一部として習慣化すること）を中心に、身近なところで誰もが気軽にできるスポーツ活動の普及・啓発を行います。

特に高齢者に対しては、ライフステージに応じて運動やスポーツに親しめるよう、高齢者向け3033運動プログラムの普及・啓発を行います。

3033（サンマルサンサン）運動



・県域・広域スポーツイベントへの支援（民間）

県内レクリエーション団体などが行うスポーツレクリエーション、ニュースポーツ等のイベントの開催を支援します。

・「かながわシニアスポーツフェスタ」の開催と「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」への参加支援（県）

高齢者の健康の保持増進、生きがいの支援を目的に、日ごろの健康、スポーツ活動の成果を発表する総合スポーツ大会として、「かながわシニアスポーツフェスタ」を開催します。

また、県内の健康・スポーツ活動等の高揚を図るため、毎年秋に開催されている全国の高齢者のスポーツ・文化の祭典である「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」に、県代表選手団を派遣します。（指定都市は別途選手団を派遣）

- ・ 全国健康福祉祭（ねんりんピック）の本県開催に向けた取組（県・指定都市）

平成 31 年に設立した「ねんりんピックかながわ 2021 実行委員会」（令和 2 年に「ねんりんピックかながわ 2022 実行委員会」に改称）において、平成 31 年 2 月に大会の概要をまとめた「基本構想」を、令和 2 年 1 月により詳細な事業内容をまとめた「実施要綱」（令和 3 年 1 月に改訂）を策定しました。これらを基に、令和 4 年 1 月（予定）に各イベントや各交流大会への参加手続等をまとめた「開催要領」を策定するとともに、令和 4 年 11 月の大会開催に向けて、総合開・閉会式や各イベントの実施計画、選手等の輸送計画の策定など大会運営全体に関わる業務を進めます。

高齢者のスポーツ等の交流大会である、かながわシニアスポーツフェスタの参加者数の目標値

（単位：人）

2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)
6,021	3,900	4,000	4,100	4,100

注 2019(令和元)年度は実績、2020(令和2)年度は実績見込み。

< 2 > 活動・交流の場の提供

健康づくりなどを支援するため、学習やスポーツ等に親しむ機会の提供につながるよう、多様な活動・交流の場の拡充が必要です。

施策の方向

- ◇ **学校等の地域の資源をいかし、多様な活動や交流のための場づくりを進めます。**

① 学習やスポーツ活動、交流体験の場の提供

学習やスポーツなどの活動や交流体験の場を提供します。

【主要事業】

- ・ 県立学校の学習施設、体育施設の地域開放（県）

学校の会議室、音楽室、美術室等の学習施設、体育館や運動場などの体育施設を地域に開放することにより、地域に親しまれる学校づくりを促進するとともに、学習や文化、スポーツ等の活動や交流の場を提供します。

- ・ 介護予防・生きがいづくり支援事業（県・民間）（再掲：本掲は P88）